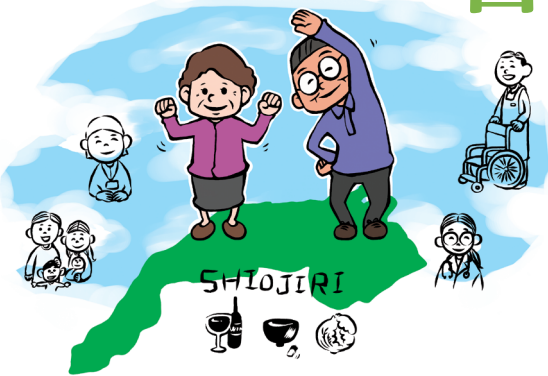


人や地域とつながりながら、 自分らしく暮らせるまちへ

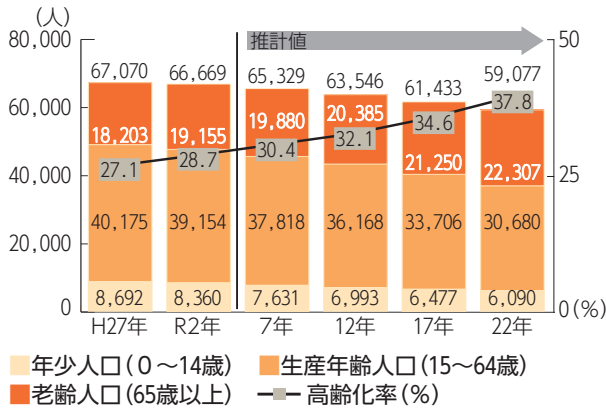
—塩尻市いきいき長寿計画策定—

本市では令和6～8年度の3カ年計画「塩尻市いきいき長寿計画（老人福祉計画、第9期介護保険事業計画、第1期認知症施策推進計画）」を策定しました。その概要をお知らせします。

問 介護保険課介護保険係、介護相談係 ☎0263②0280（代）



■グラフ1 本市の年齢3区分人口の推移と将来推計



参考：実績／総務省「国勢調査」、推計／市企画課

本市の推計では、生産年齢人口（0～14歳）は共に減少する一方で、高齢人口は一貫して増加し続け、令和22年には高齢者数のピークを迎えます（グラフ1参照）。その結果、高齢者一人を支える生産年齢人口は令和2年の2・0人から、22年には1・4人に減少し、支える側の負担は今後一層大きくなると考えられます。

このような状況の中で介護が必要になったとしても、必要なサービスを利用しながら家族、友人、地域と支え合い、つながりながら、生きがいを持っていきいきと自分らしく暮らせるま

いきいき長寿計画三つの指標

安心して生活できる地域
だと答える人の割合

(R4)

- 元気高齢者 88.3%
- 居宅要介護・要支援者 83.1%

→増加

健康寿命

	男性	女性
(R3)	80.8歳	85.3歳
(R8)	81.6歳	85.8歳
(R14)	82.5歳	86.4歳

自分のことを好ましく
感じる市民の割合

(R5)	46.5%
(R8)	50.5%
(R14)	56.5%

ちを目指します。今回のいきいき長寿計画の目指す姿を「人や地域とつながりながら、自分らしく暮らせるまち」としました。目指す姿の実現に向けて、三つの推進目標に沿って取り組みを進めていきます。

**【推進目標①】
自らつくるいきいき健康長寿**

市民の皆さんが自ら意識して健康の維持と介護予防活動が継続できるように、また、仲間との交流を楽しみ、いきいきと地域や社会で活躍できるよう支援していきます。

■本市の取り組み
○生きがいづくりや社会参加

の機会を提供
○SNSなどを活用し、運動や健康情報を配信
○運動機能に応じた多様な健康教室を運営
○介護予防に取り組む自主グループの活動を支援

**【推進目標②】
住民・関係機関・行政がつながり、暮らしをサポートする地域づくり**

住民・医療や介護の関係機関・行政などが連携し、人と人と資源が世代や分野を超えてつながる、地域共生社会の実現を進めます。

本市では、令和6～8年度の3カ年計画「第1期認知症施策推進計画」を策定し、認知症対策を推進します。認知症になっても、住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることができるよう、認知症予防から認知症の人やその家族の支援まで、地域で支え合う体制づくりを推進します。

市の取り組みの中でも特に、日常生活圏域ごとに実施している「認知症オレンジカフェ」の活動を生かして、認知症地域支援推進員が中心となり、日常生活圏域ごとに「チームオレンジ」を構築し、支援体制を充実して

令和6年度からの65歳以上の人の介護保険料が決まりました

介護保険料は、制度の改正に合わせて3年に1度見直しを行っています。今回の改定では、11段階から13段階へ段階数が増加するとともに、各段階の保険料率の見直しを行いました。

段階 (保険料率)	対象者	年額の介護保険料 (月額)
第1段階 (0.285)	○生活保護受給者 ○世帯全員が市民税非課税で、本人が老齢福祉年金受給者または本人の前年の合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の人	18,630円 (1,552円)
第2段階 (0.485)	○世帯全員が市民税非課税で、本人の前年の合計所得金額+課税年金収入額が	31,710円 (2,642円)
第3段階 (0.685)	80万円を超え、120万円以下の人 120万円を超える人	44,790円 (3,732円)
第4段階 (0.85)	○世帯員に市民税課税者がいるが、本人が非課税で前年の合計所得金額+課税年金収入額が	55,590円 (4,632円)
第5段階 (1.00)	80万円以下の人 80万円を超える人	65,400円 (5,450円)
第6段階 (1.15)	125万円未満の人	75,210円 (6,267円)
第7段階 (1.30)	125万円以上210万円未満の人	85,020円 (7,085円)
第8段階 (1.50)	210万円以上320万円未満の人	98,100円 (8,175円)
第9段階 (1.55)	○本人が市民税課税で前年の合計所得金額が	101,370円 (8,447円)
第10段階 (1.75)	320万円以上420万円未満の人	114,450円 (9,537円)
第11段階 (1.80)	420万円以上520万円未満の人	117,720円 (9,810円)
第12段階 (1.90)	520万円以上620万円未満の人	124,260円 (10,355円)
第13段階 (2.00)	620万円以上720万円未満の人 720万円以上の人	130,800円 (10,900円)

「チームオレンジ」ってなに？

認知症の人やその家族と、認知症サポーターなどを中心とした支援者をつなぎ、安心して暮らし続けられる地域をつくる仕組みのことです。

どんなことをするの？

- 認知症の人やその家族が外出や相談できる機会をつくります。
- 認知症に関わる情報提供や情報共有ができる場とし、より多くの市民に認知症について理解を深める機会をつくります。

市内介護事業所調査（グラフ2参照）では、前回の調査に比べ、職員が不足していると回答

【推進目標③】
より良い介護サービスの提供と将来を見据えた安定的な介護保険制度の運営

- 本市の取り組み
○認知症に関する理解促進
○認知症予防の推進
○認知症の早期発見・早期対応の体制および連携の強化
○認知症の人とその家族に対する相談・支援体制の充実
○安全の確保と介護者の負担軽減

いきます。

- 介護補助員養成支援
- 介護事業所の働き方改革を支援
- 介護初任者研修、実務者研修の費用補助
- 本市の取り組み

介護保険サービスの需要がさらに増加することを見込み、サービス提供のための人材確保や、介護の質を担保するための支援を強化し、将来にわたって安定的に介護保険サービスを提供できるように努めます。

する事業所の割合が増え、人材不足がより深刻化しています。また、中山間地域のサービス提供体制の確保も課題となっています。

■グラフ2 介護事業所の人材配置状況

